

旧玉名干拓施設（末広・明丑潮受堤防）草刈り清掃活動

令和7年10月25日（土）7時～9時30分に熊本県玉名市の旧玉名干拓施設（末広・明丑堤防）において、横島町文化財保存顕彰会が主催する草刈り清掃活動が行われ、320名（うちNPO会員41名、関係会社職員177名）が参加しました。

旧玉名干拓施設は、明治20年代以降に築かれ、大正期及び昭和初期に発生した潮害後に、熊本県を中心として復旧、改造された海面干拓施設です。施設は、末広開、明丑開、明豊開及び大豊開の4所の潮受堤防がほぼ連続的に築かれ、総延長は5.2kmに及び、国の重要文化財に指定されています。

今年は同施設の西側に位置する末広開潮受堤防・明丑開潮受堤防（2.8km）を対象に、除草作業と空き缶等のゴミ拾いを行いました。

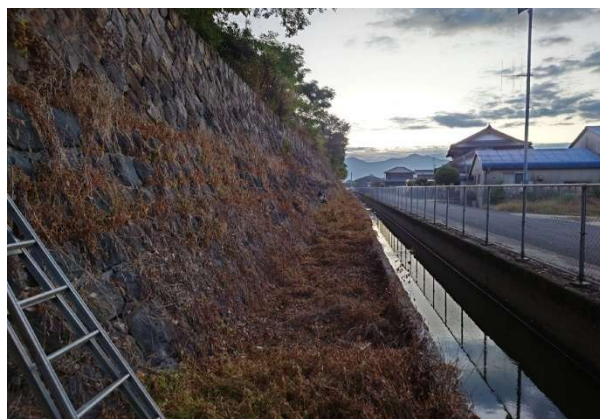
当日は7時から受付を予定しておりましたが、参加者皆さんの集まりが良く、作業開始予定の7時30分を待たず作業開始となりました。この夏は猛暑が続きましたが例年並みに雑草が繁茂し、作業中の気温は20℃以下でしたが日差しがあり、作業中盤から汗を流しながらの作業となりました。多くの皆さんに参加して頂き、作業終了予定時間前に終わることができました。

作業は草刈りから集積までとし、後日、草が枯れてから主催者が搬出を行う予定です。

参加者の集合写真



草刈り作業前



草刈り作業状況



草刈り作業完了

